いっちん子ども自然塾　　1月度活動報告

活動の目的　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

1. 開催日時　2023年1月15日（日） 10時～14時30分　曇（時々陽が射す程度）
2. 参加人数　参加者　11名　（欠席5名）　　参加スタッフ　13名
3. 行事内容　1　農作業;　餅つきで小正月を祝う
　　2　森の整備;　ススキの穂刈り
　　3　農の学習;　稲ワラでナワナイ
　　（受付時に手指消毒・体調確認等の感染症対策を実施）

4. スケジュールと活動概要

10:00-10:10	挨拶、本日のスケジュール説明と注意事項
10:10-12:15	モチ米の説明、餅つき、餅まるめを体験　計8臼
12:15-13:10	手洗い後、昼食（希望者には芋煮汁と黄粉餅）。あとは自由時間。
13:10-13:55	ワラでなわないの実習。できた縄で縄跳び遊び。
13:55-14:25	ススキの穂の刈込み
14:25-14:30	今日の振り返り、お土産に小餅6ケ入り2袋ずつ。

5. 活動補足と所見
- 雨予報は免れたが、前日までの雨で「落ち葉掻き」が難しく、「稲ワラで縄をなう体験」に変更した。
- もち米が豊作にて、餅つきを8臼に増やした。
- 餅つきはいっちんスタッフと子どもたちで、8臼を順調に仕上げた。
  子どもたちは、餅つき・餅まるめとも、例年よりも熱心に最後まで取り組んでいたように見える。
  粉をつけすぎるのは仕方ないとして、徐々に丸め方が上達し、形も揃ってきた。
- 8臼目は芋煮汁に入れたり黄粉餅にして喫食した（ほとんどの子どもが希望し、みんなで味わった）。
- 初めの7臼分は全て子餅にまるめ、子ども達には6ケ入りを2袋ずつお土産に持ち帰ってもらった。
- ワラのなわないは、やはり難しく、自分で縄を完成することができた子どもは数人だった。
- スタッフ応援分を含めてつないで大縄に仕上げ、皆で大縄跳びを楽しんだ。
  何人かは、ワラを持ち帰って練習する・・・とのことで、結果が楽しみです。
- ススキ育成区の高架下周辺で、ススキの穂の刈込作業に取り組んだ。毎年ススキを刈ることで
  ススキの育成や、ここに依存して棲んだり咲いたりする多様な動植物の生活に貢献することとなります。

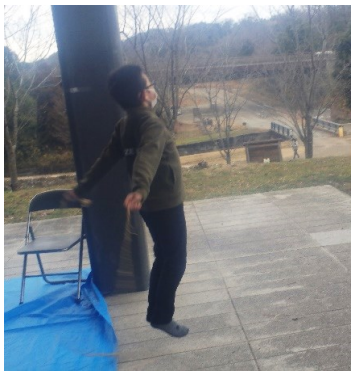
6. 活動風景

餅つき

餅まるめ

ワラで縄をなう

縄跳び



大縄跳び

ススキの穂の刈込